

WINDS CAFE 309 in 原宿

# JOHN CAGE 弦楽四重奏作品を全て聴け!!

ケージ生誕110年+没後30年記念

日時 9月11日 13時半開場 14時開演

場所 カーサ・モーツァルト(原宿駅より徒歩すぐ)

入場料 無料、投げ銭制(予約制)

出演

ヴァイオリン: 迫田圭 加藤美菜子

ヴィオラ: 亀井庸州

チェロ: 北嶋愛季

MUSIC FOR (String Quartet) 【1984】

String Quartet in four parts 【1950】

THIRTY PIECES FOR STRING QUARTET 【1983】

FOUR for 2 violins, viola and violoncello 【1989】

コロナ対策のため、完全予約制といたします。

お申込みは8月24日(水)以降下記にアクセスしてください。

<http://tatsutoshi.my.coocan.jp/Up.html>



## MUSIC FOR (String Quartet)

各パートごとに時間枠が設けられており、その決められた時間の中で記譜された音符を演奏する。音量と音の長さを任意で決められる短いセクションには開始時間と終了時間が厳格に指定してあり、音の長さがある程度奏者の主観で委ねられた音数の多いセクションには、開始時間と終了時間に少しの猶予が設けられている。

## FOUR for 2 violins, viola and violoncello

A、B、C各5分ごとのセクションがあり、それぞれ4つのパートがある。それらはどの奏者がどのパートを演奏しても良い（ただし同じパートを数人で弾くことは許されていない）。

A→B→Cと演奏後もう一度パートを変えてA→B→Cと演奏する。

~intermission~

## THIRTY PIECES FOR STRING QUARTET

MUSIC FORと同じく各パートごとに時間枠が設けられており、その決められた時間の中で記譜された音符を演奏する。ただし、こちらの作品はおおよそ一分毎に30個のセクションが存在し、拍と小節が厳格に設定されたセクションと、比較的自由的なセクションの2種類によって楽曲が構成されている。

## String Quartet in four parts

弦楽四重奏作品の中で唯一、厳格に記譜された音楽である。全てのパートは常にノンビブラートで演奏される。同時に演奏される音の組み合わせにはある程度決まりが存在し、全体に統一感をもたらしている。弦楽器奏者が各々の色合いを表現するというよりは、「弦楽四重奏」という楽器が様々な音色を生み出していくような楽曲となっている。かつてケージと共に創作活動を行うこともあった作曲家のルー・ハリソンに曲が捧げられている。

- 1 楽章 Quietly flowing along
- 2 楽章 Slowly rocking
- 3 楽章 Nearly stationary
- 4 楽章 Quodlibet

### ヴァイオリン 迫田圭（さこだけい）

東京音楽大学卒業。東京音楽大学大学院に給費奨学金を得て入学、修了。

東京音楽大学コンクール入選、第28回市川市新人演奏家コンクール弦楽器部門最優秀賞。プロジェクトQ第10章に参加。若手作曲家の新作初演にも数多く携わっており、サントリーサマーフェスティバル内の芥川作曲賞選考演奏会ではソリストを務める等、精力的に活動している。現在、おーけすとら・ぴとれ座にてコンサートマスターを務めている他、オーケストラトリプティーク、Malus Quintet、Green Room Players にヴァイオリン、ヴィオラ奏者として在籍している。また、町田コダーイ音楽院、WE LOVE MUSIC、神奈川県立相模原弥栄高等学校にて講師を務める。

### ヴァイオリン 加藤美菜子（かとうみなこ）

東京音楽大学卒業、同大学院修了。ヴァイオリンを山崎好江、三戸泰雄に、室内楽を横山俊朗、浦川宜也、堀了介、故・鷹栖光昭の各氏に師事する。地元埼玉県では、「まちかど四重奏」「まちかど室内楽団」として演奏会を行う他、ピアノトリオ「浅間山重奏」としても2014年長野県大賀ホールでコンサートを行い、長野県を中心に活動中。Fugato academy festival 2013にて第3位入賞。オーケストラ・トリプティーク、東京室内管弦楽団ヴァイオリン奏者。

### ヴィオラ 亀井庸州（かめいようしゅう）

2000年ごろから主に同世代の作品初演を中心に活動を開始。2005年よりベルギー王立リエージュ音楽院において、欧州の20世紀音楽や即興演奏を学んだ。2007年より帰国後も引き続き同世代の作品初演活動に携わる。個人企画のほか、東京オペラシティ音楽財団、サントリー芸術財団、みなとみらいホール等の主催公演に出演し、内外の作曲家による室内楽、ソロ作品の初演、再演を中心として活動している。これまでに初演した作品は100曲あまり。また同時に尺八の古典をはじめとした演奏を行っており、2017年にはcoba氏の新曲を、舘野泉氏とともに初演している。弦楽四重奏として出演した公演において第14回、第18回佐治敬三賞を受賞。

### チェロ 北嶋愛季（きたじまあき）

桐朋学園大学音楽学部卒業。松波恵子氏、堀了介氏に師事。ドイツ国立トロッシゲン音楽大学ディプロマ課程修了、F.グトン氏に師事。2013/14年度インターナショナル・アンサンブル・モデルン・アカデミー奨学生。メンデルスゾーン・ドイツ国立音楽大学コンクール現代音楽アンサンブル部門において3位受賞。ドイツ国立フランクフルト音楽・舞台芸術大学古楽器科修士号取得、バロックチェロをK.V.D.奏者として、またモダンとバロック2ゴルツ氏に師事。2017年帰国後も室内楽台のチェロによる独奏演奏会などソリストとしても国内外で精力的に活動。[www.akikitajima.com](http://www.akikitajima.com)